

褒めることは、 本当に成果を向上させるのか？ －性格類型別分析－

2019/2/5
北海学園大学
工学部生命工学科
4715210 谷口紗采

1

1

研究の背景

一般論

「褒める＝成果が上がる」



疑問①
本当に？

疑問②
性格によって
違う？

2

2

既存研究

- 褒める → 自己肯定感UP!

性格 ×

数値化 ×

- 褒める → 自己効力感UP!

性格 ×

数値化 ×

男女や年齢で偏り

出典:小平幸春、果たしてオトナの賞賛は子供の自己肯定感情を高めるのか:小・中・高校生調査(9350人)に見るオトナの態度表明の重要性と問いかけの課題、日本教育心理学会総会発表論文集45(0),239,2003
笹川宏樹・藤田正、親の養育態度と自己効力感及び自己統制感の関係、奈良教育大学教育研究所紀要28,81-89,1992-03-01

3

3

研究の目的

性格分類

+

定量化

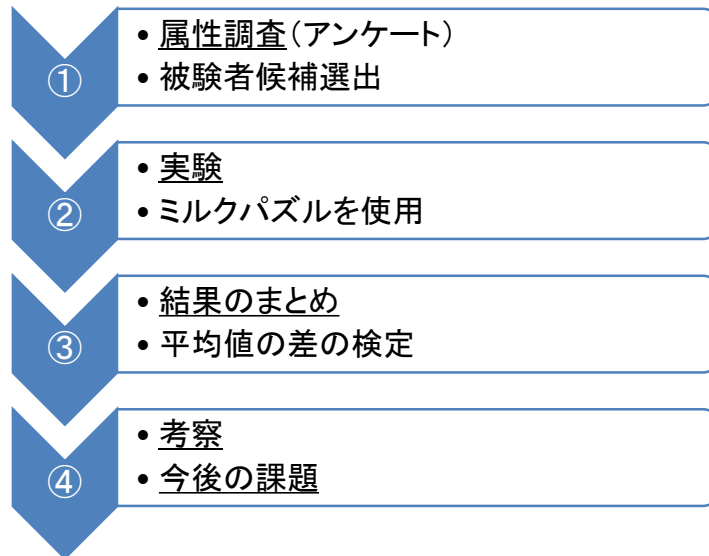


1. 「褒め」は本当に効果があるのか
2. どのタイプに効果的か

4

4

研究の流れ



5

5

①属性調査

- 調査対象
2018年現在、4年制大学に在籍している
3年次以降の大学生
- アンケート内容
 - (1)性別 (2)血液型
 - (3)兄弟構成(有無・自身の位置づけ)
 - (4)16類型性格診断の結果

6

6

16類型性格診断

無料性格診断テスト

NERIS Type Explorer®



12分以内で終わらせましょう。



正直に答えましょう（たとえ、その答えが気に入らなくても）。



できるだけ「中立」の答えは避けましょう。

- 約100問
- カール・グスタフ・ユング（心理学者）
- 誰でもできる

0

他人に自己紹介するのが苦手だと感じる。

同意する ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 同意しない

7

7

分析家	番人
"建築家" INTJ (-A/-T)	"管理者" ISTJ (-A/-T)
"論理学者" INTP (-A/-T)	"調査者" ISFJ (-A/-T)
"指揮官" ENTJ (-A/-T)	"幹部" ESTJ (-A/-T)
"討論者" ENTP (-A/-T)	"領事官" ESFJ (-A/-T)

己の興味

人のために

人を動かす

自分が中心

外交官	探検家
"提唱者" INFJ (-A/-T)	"巨匠" ISTP (-A/-T)
"仲介者" INFP (-A/-T)	"冒険家" ISFP (-A/-T)
"主人公" ENFJ (-A/-T)	"起業家" ESTP (-A/-T)
"広報運動家" ENFP (-A/-T)	"エンターティナー" ESFP (-A/-T)

引用：無料性格診断テスト (<https://www.16personalities.com/ja>)

8

8

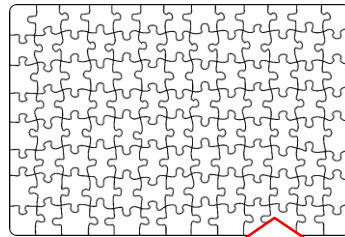
②実験

- ミルクパズル(ホワイトパズル)とは...

《一般的なパズル》



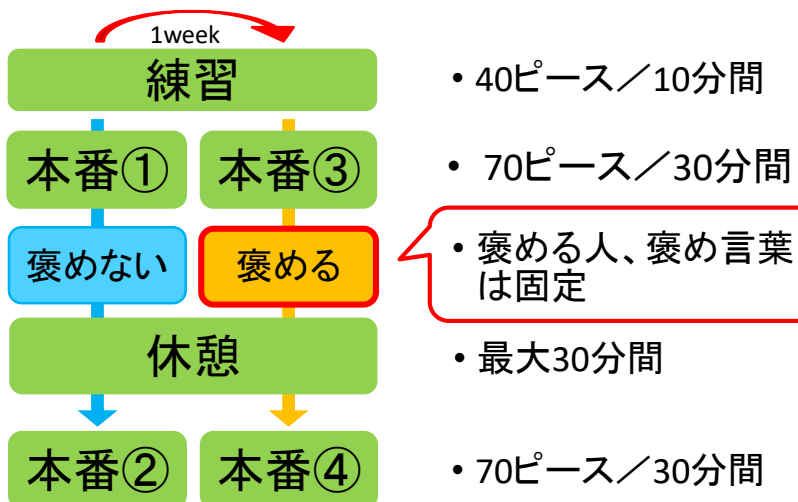
《ミルクパズル》



高い忍耐力と集中力

9

②実験フロー



10

10

実験協力者

- アンケート回答者数: 45名
 - 被験者候補: 20名
 - 実被験者数: 18名
- (男性: 女性 = 8名: 10名 = 4: 5)

11

11

データの補正

- 生データ パズルへの慣れ • 「慣れの効果」を除外

ピース数	褒めない実験		褒める実験	
	①	②	③	④
1	35	33	34	32
2	33	40	35	35
3	33	35	38	34
4	34	34	46	36
5	17	20	7	17
6	30	34	38	34
7	15	8	16	35
8	36	35	38	40
9	33	37	37	47
10	30	35	42	39
11	28	31	37	43
12	34	35	32	39
13	33	35	41	46
14	32	36	40	36
15	39	38	42	35
16	36	42	47	43
17	36	39	41	44
18	34	35	33	37

ピース数	褒めない実験		褒める実験	
	①	②	③	④
1	35	32	30	30
2	33	39	31	32
3	33	34	34	31
4	34	33	41	33
5	17	20	6	16
6	30	33	34	31
7	15	8	14	32
8	36	34	34	37
9	33	36	33	44
10	30	34	37	36
11	28	30	33	40
12	34	34	28	36
13	33	34	36	43
14	32	35	35	33
15	39	37	37	32
16	36	41	42	40
17	36	38	36	41
18	34	34	29	34
平均値	32	33	32	35
慣れの効果		1.02	1.13	1.08
		②/1.02	③/1.13	④/1.08

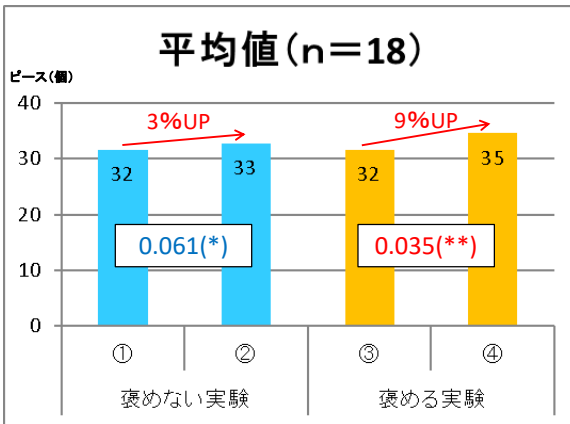
慣れの効果
 …鈴木ゼミ生6名のプレ実験結果から算出
 (各データ/①の平均値)

12

12

全体の効果比較

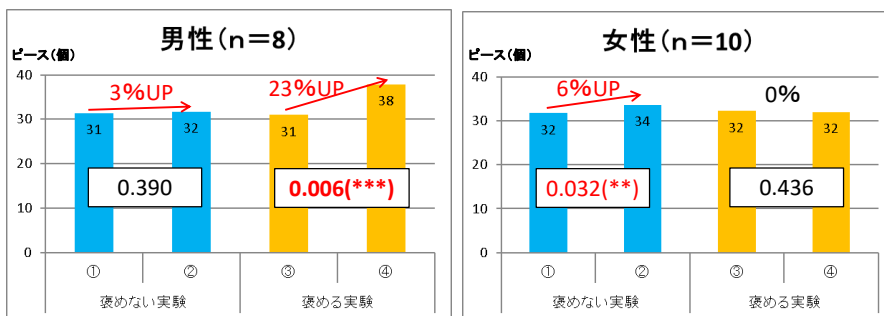
	褒めない実験		褒める実験	
	①	②	③	④
1	35	32	30	30
2	33	39	31	32
3	33	34	34	31
4	34	33	41	33
5	17	20	6	16
6	30	33	34	31
7	15	8	14	32
8	36	34	34	37
9	33	36	33	44
10	30	34	37	36
11	28	30	33	40
12	34	34	28	36
13	33	34	36	43
14	32	35	35	33
15	39	37	37	32
16	36	41	42	40
17	36	38	36	41
18	34	34	29	34
平均値	32	33	32	35



何%UP? 何%UP?

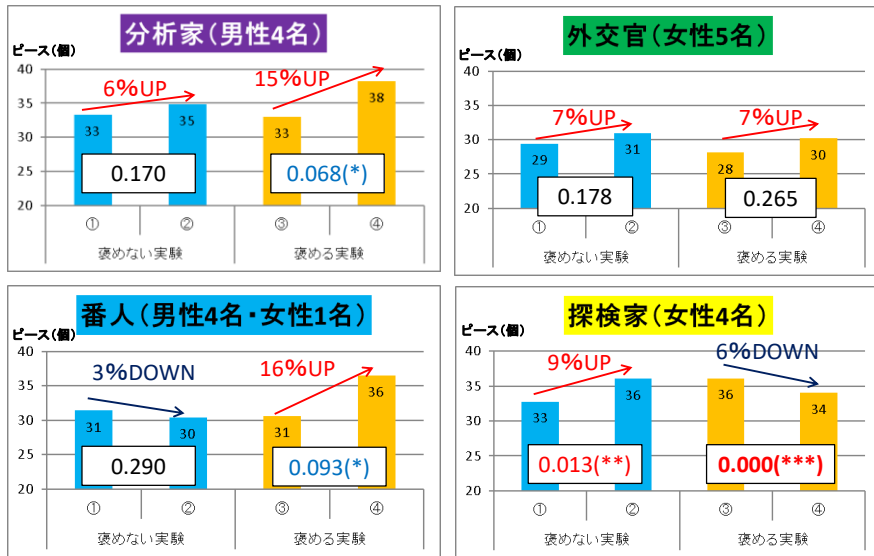
褒めた方がより成果が上がった

性別の効果比較



「褒め」は男性に有効

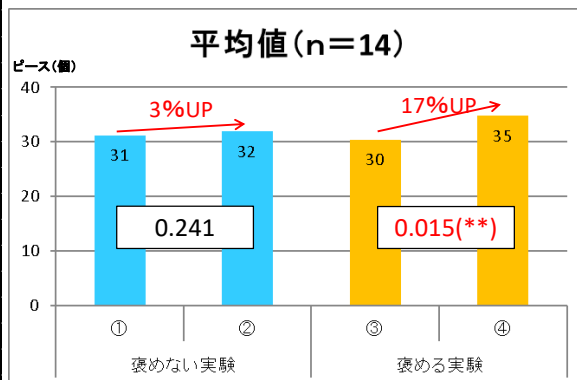
性格別の効果比較



探検家は褒めると明確に成果が落ちる！！

全体の効果比較(探検家以外)

	褒めない実験		褒める実験	
	①	②	③	④
1	35	32	30	30
2	33	39	31	32
3	34	33	41	33
4	17	20	6	16
5	15	8	14	32
6	36	34	34	37
7	33	36	33	44
8	30	34	37	36
9	28	30	33	40
10	34	34	28	36
11	33	34	36	43
12	39	37	37	32
13	36	38	36	41
14	34	34	29	34
平均値	31	32	30	35



⇒「褒め」は明確に成果を向上させる！

まとめ

1. 褒める = 成果向上 **一般論**
→ 探検家タイプは逆効果！
2. 褒めの効果が反映されたタイプ
性別：男性
性格：番人・分析家・探検家(↓)

今後の課題

各性格群の男女差の均等化・被験者数増加